

もゆる浪漫

山形市立第八中学校だより
第3号 校長 長沼 政直
令和6年7月24日 発行

4月8日の始業式・入学式に始まった約4ヶ月間の第1学期が終了しました。今年度から、将来VUCA (Volatility 変動 Uncertainty 不確実 Complexity 複雑 Ambiguity 曖昧) 時代を生き抜くために必要な“たくましい”を付け加え、学校像を「**地域と繋がり 新しい時代を拓く たくましい生徒を育てる学校**」とし、非認知能力（見えない学力）を意識した教育活動を推進しております。

下は、自分が成長するのにどんな力が必要かを生徒たちに質問し、結果をまとめたものです。生徒の皆さんには、1学期、どんな場面でどのような見えない力を発揮できたか。それによりどう成長したのかを一人ひとりが振り返り、2学期は、どんな力を付けたいのかを考えてほしいと思います。

学校教育目標や学びの輪との認知能力と非認知能力

見える学力●	●見えない学力	
	個に関わる	他者に関わる
知識・技能	学びに向かう力、人間性	
読み取る力 理解力	<ul style="list-style-type: none"> ◆計画性(plan) 見通す力 目標を立てる力 フォーサイトの活用 ◆やり抜く力(実行力) ＝達成する力 継続力 当りを当たり前にする力 こだわる気持ち 集中力 ◆自己調整力 (振り返りながら、改善する力) メタ認知力 回復力(レジリエンス) 改善する力 あきらめない力 七転び八起き 再挑戦する気持ち 	<ul style="list-style-type: none"> ◆思いやり・優しさ 気遣う、心配する気持ち 人を愛する 親切な気持ち 寛容さ・広い心 穏やかな心 ◆共感力 話を聞く力 他人を理解する力 相手の性格や状況を理解する ◆援助希求力 人に頼ることができる力 ◆コミュニケーション能力 周りを見て行動する力 進んで話をする 進んであいさつする気持ち ◆協調力 仲間と協力する力 認め合う力 助け合う力 周りをささえる気持ち 相手の意見を尊重できる 応援し合う気持ち 相手を励ます力 相手に聞く力(勇気) 質問力
見えにくい学力●		
思考・判断・表現		
判断力 まとめる力 自分の考えを言える		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 創造力・貢献能力・自立心 </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 学びの輪に関する部分 </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> ◆自己理解力 自分の考えを持つ力 自分の良さを理解する力 自分の課題を理解する力 ◆責任感 ◆忍耐力 我慢する気持ち 努力 ◆向上心 夢をもつ気持ち、理想を抱える気持ち 成長しようとする気持ち 挑戦する気持ち ポジティブ思考 前に進んでいける力 楽しむ気持ち 意欲的な心 主体性 自分からやる気持ち ◆自制心 気持ちをコントロールする力 穏やかなこころ 自律心 規範意識 物を大切にする ◆自尊心・自己肯定感 優越感 自分の力を信じる気持ち(自信) 幸せ感 ウェルビーイング 	

八中生の歌声が響いた あじさい祭りへの参加 有志46名

コロナウイルス感染症の5類移行後、ようやく少しずつマスクを外すことのできる生徒が多くなりました。声を思い切り出せない時期があまりにも長く、本来の八中生の声を早く取り戻したい、もっと歌声を響かせたい、そして誰もが感動する合唱を歌えるようになってほしい、そう私は考えていました。

昨年度の卒業合唱は感動的でしたが、校歌は、まだまだ歌い慣れていないなあという印象がありました。そこで、次のような流れで、生徒たちの歌唱に対する意識を高めてきました。

4月12日の全校校歌練習→歌詞の意味を考えながら、生徒主体で練習し、声量を増す。

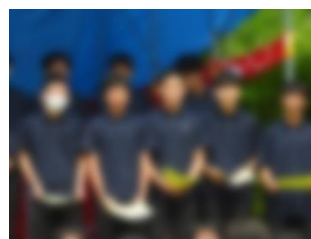
6月4日の合同合唱発表会で、合唱の良さを1年生も含め、体感する。

6月5日の創立記念式で校歌の作曲者と作詞者の話を聞き、校歌に対して一層の親近感を持つ。

6月 地区振興会からの依頼を受け、あじさい祭りの合唱発表の希望者を募り、練習を開始する。

7月14日のあじさい祭り当日を迎える。

今年のあじさい祭りは好天に恵まれました。その中で全校生のおよそ半数が、心を込めて合唱「地球星歌」を披露しました。合唱を通じて、地域に元気が与えられたことを嬉しく思います。



地域からの声に応える 大曾根小学校での清掃ボランティア

昨年度、学校運営協議会で、ある委員の方から、大曾根小学校の児童数減少にともない、小学校の清掃がなかなか行き届かないところがあるので、ぜひ八中生に力を貸してほしいとの御意見をいただきました。大曾根小学校の校長先生からも、トイレの床だけでもとお話があり、生徒会担当の先生を通して生徒会へ呼びかけてもらいました。

事前に、生徒会の代表が、小学校に打ち合わせにいき、具体的にどんな困り感があるのかお聞きし、その後、全校生にボランティアに参加してくれる仲間を募集しました。

当日は、雨模様で実施が危ぶまれましたが、徒歩で小学校まで行ってくれた生徒も数多くおり、ほぼ予定の清掃場所をきれいにする事ができました。ボランティアを通して、生徒の见えない学力が確実に高まっています。「困っている人への思いやり」「とことんきれいにできたという達成感」「感謝されることによってもつことのできる自己有用感」などです。見えない力は、このたよりの左側で述べたVUCA時代を生き抜くたくましさにつながります。機会を与えてくださった関係者や、実施までのお手伝いをしてくれた教職員、そして何よりも参加してくれた生徒の皆さんに感謝したいと思います。

